

リウマチ・膠原病科

【はじめに】

5日間の限られた期間で行われる本臨床実習は、モデル・コア・カリキュラムに準拠し、かつ臨床・クラークシップ(診療参加型臨床実習)を導入することにより、効率よく実習を行うことを目指します。臨床・クラークシップの目的は、「学生が実際の診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当することによって、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶこと」です。単なる知識・技能の習得や診療の経験にとどまらず、実際の医療現場における判断や対応、および治療に関する思考(臨床推論)を養うことを目標としています。

リウマチ・膠原病科は、主として関節リウマチや全身性エリテマトーデスを代表とする各種全身性自己免疫疾患の診断と治療を専門とする診療科であり、リウマチ・膠原病科の臨床実習では、炎症・免疫に関する理解と、全身を広く見渡すきめ細かい診療姿勢、ならびに、免疫抑制療法の選択と管理について学ぶことを目指します。

【実習目標】

1. 病歴の聴取や患者の診察など、内科診療の基本を学習する。
2. 患者の抱える医療上の問題点を理解し、それについて考察する。
3. 問題指向システム(POS: problem oriented system)について理解し、実行する。
4. 臨床検査、画像診断、尿検査などを学習し、検査データを解釈する。
5. リウマチ・膠原病疾患に特徴的な身体所見について学習する。

【実習内容】

コア・カリキュラムの記載内容について、病棟実習を通じて学習します。患者を通じて学習できない範囲は、小講義ならびに自己学習で補うようにして下さい。

【評価方法】

臨床実習では知識・技能および医師・社会人としての基本的態度を修得することを求めています。リウマチ・膠原病科としては、知識・技術として、実習目標に掲げた5つの点について、評価します。また、医師・社会人としての基本的態度としては、積極性、時間厳守、自己学習の観点に注目し包括的に評価し、提出課題で指導医が採点します。

【担当教官】

平田 信太郎 (教授) 吉田 雄介 (助教) 杉本 智裕 (助教) 渡辺 裕文 (助教)

【緊急連絡先】

リウマチ・膠原病科 吉田 雄介 TEL: 082-257-1583(リウマチ・膠原病科教授室)・PHS3660

※質問がある際は、082-257-1583(リウマチ・膠原病科教授室)に電話にて連絡すること。

【対面実習の場合のスケジュール・注意事項】

1. 月曜 8:40 に外来棟 5F カンファレンスルーム 3 で入院患者カンファレンスに参加する。症例ディスカッションの際には一人一つずつは質問するように心がけること。その後、6 階西病棟を中心に病棟回診を行う。(担当:平田教授)
2. 月曜 総回診後に、担当患者の割り当てと紹介を行う(通常学生2名に対して1名の患者)。病棟医の指導のもと、学生自ら担当患者の問診と身体診察を行い、患者サマリーの作成(Moodle 上の症例発表の方法、サマリー例も参照)、学生でカルテ SOAP 記載を行う。
*月曜が祝日の場合、火曜日 10:00 にオリエンテーションあり。
3. 火曜 10:00 から中央研究棟 2F 201 で膠原病レクチャー(担当:吉田助教)を行う。(火曜が祝日の場合は中止)
4. 水曜 10:00 に中央研究棟 2F 201 で中間プレゼンテーションを行い、サマリーやカルテのチェック(担当:杉本助教)を受ける。指導に基づき患者サマリー・SOAP を作成する。(水曜が祝日の場合は中止)
5. 木曜日 14:00 に関節エコー実習を行う。(担当:病棟医師)(14:00 に中央研究棟 2F 201 に集合し、外来棟へ向かう)(木曜が祝日の場合は中止)
6. 金曜午前 10:00 に中央研究棟 2F 201 で、担当患者のプレゼンテーション(担当:渡辺助教)を行う。(金曜が祝日の場合、木曜 18:00 までにサマリーをメール rareport@hiroshima-u.ac.jpで提出)
7. Moodle 上にアップされたオンデマンド教材を各自で適宜閲覧し学習する。

【実習の日程】(通常)

	午前	午後
月曜	8:40 カンファレンス・総回診 11:00 担当患者割り当て・紹介(吉田)	病棟実習 学生カルテで担当患者カルテ記載 現病歴・患者背景を中心に患者サマリーを作成
火曜	10:00 膠原病レクチャー(吉田)	病棟実習 学生カルテで担当患者カルテ記載 身体所見を中心に患者サマリーを作成
水曜	10:00 中間プレゼンテーション(杉本) 患者サマリーを印刷して持参	病棟実習 学生カルテで担当患者カルテ記載 検査所見、プロブレムリスト作成を中心に患者サマリーを作成
木曜	病棟実習 学生カルテで担当患者カルテ記載 プロブレムリスト作成毎のアセスメント、プランを中心に患者サマリーを作成	14:00 関節エコー実習(病棟医師)
金曜	10:00 総括プレゼンテーション(渡辺) 患者サマリーを印刷して持参	

【非対面実習のスケジュール・注意事項】

1. 月曜 8:40 に診療棟 5F カンファレンスルーム 3 でカンファレンス(担当:平田教授)に参加する。その後、オリエンテーション(担当:吉田助教)を行う。(祝日がある場合は、火曜 10:00 にオリエンテーション)
2. 班毎に担当症例が割当てられ、シナリオと課題が提示される。月曜は課題(1/3)、火曜は課題(2/3)、水曜は課題(3/3)がそれぞれ朝 8 時に Moodle 上へアップされる。(祝日がある場合は、下記の日程を確認)
3. 課題は Word 形式(それぞれ A4 サイズ 1-2 枚程度)で各自が作成し、課題(1/3)は月曜 18:00 までに、課題(2/3)は火曜 18:00 までに、課題(3/3)は木曜 18:00 までにメールで送付する (メールアドレス rareport@hiroshima-u.ac.jp)。(祝日がある場合は、それぞれの日の翌日提出で良い)
4. 火曜 10:00 に中央研究棟 2F 201 で膠原病レクチャー(担当:吉田助教)を行う。(祝日の場合中止)
5. 水曜 10:00 に中央研究棟 2F 201 で中間プレゼンテーション(担当:杉本助教)を行い、チェックを受ける。指導に基づきレポートを完成させる。(祝日の場合中止)
6. 木曜日 14:00 に関節エコー実習を行う。(担当:病棟医師) (14:00 に中央研究棟 2F 201 に集合し、外来棟へ向かう) (祝日の場合中止)
8. 金曜午前 10:00 に中央研究棟 2F 201 で総括プレゼンテーション(担当:渡辺助教)を行う。完成させたレポートを発表するため、印刷したものを持参してください。(金曜が祝日の場合、木曜 18:00 までに課題(3/3)提出で実習終了)
7. Moodle 上にアップされたオンデマンド教材を各自で閲覧し学習する。

【実習の日程】(通常)

	午前	午後
月曜日	Moodle に課題(1/3)提示(8:00) 9:00 カンファレンス・回診(平田) オリエンテーション(吉田)	18:00 までに課題(1/3)レポートの提出
火曜日	Moodle に課題(2/3)提示(8:00) 10:00 膠原病レクチャー(吉田)	18:00 までに課題(2/3)レポートの提出
水曜日	Moodle に課題(3/3)提示(8:00) 10:00 中間プレゼンテーション(杉本)	課題レポート作成(総括)
木曜日	課題レポート作成(総括)	14:00 関節エコー実習(病棟医師) 18:00 までに課題(3/3)レポートの提出
金曜日	10:00 総括プレゼンテーション(渡辺)	

【実習に備えて特に理解しておくべき疾患】

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群、脊椎関節炎、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、ベーチェット病、IgG4 関連疾患、成人発症ステイル病

【連絡先内線・PHS】

平田 信太郎 (PHS 4164) E-mail: shirata@hiroshima-u.ac.jp

吉田 雄介 (PHS 3660) E-mail: fisher37@hiroshima-u.ac.jp

杉本 智裕 (PHS 4759) E-mail: tsugimoto@hiroshima-u.ac.jp

渡辺 裕文 (PHS 4884) E-mail: watahir@hiroshima-u.ac.jp